



2024年8月9日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） 日色 保
（コード番号：2702 東証スタンダード）
問い合わせ先 日本マクドナルド株式会社
取締役 執行役員 最高財務責任者 吉田 修子
TEL 03-6911-6000

2024年12月期第2四半期連結決算状況のお知らせ

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の第2四半期累計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）の連結業績につきまして、以下のとおりご報告いたします。

ハイライト

- 全店売上高は前年同期比で増加、既存店売上高は35四半期連続でプラスを継続
- 売上高の増加および原材料費等の水準が大きく改善したことにより前年同期比で増益、通期業績予想数値に対しては概ね計画通りの進捗
- 第3四半期以降も不透明なビジネス環境が予想されるが、引き続き中期経営計画の取り組みにより通期業績予想の達成を目指す

	2024年第2四半期連結累計期間（単位：百万円）			
	実績	前年実績	前年比	前年比(%)
全店売上高*	403,985	372,148	+31,837	+8.6%
売上高	200,996	182,460	+18,536	+10.2%
営業利益	23,748	18,011	+5,737	+31.9%
経常利益	24,278	17,980	+6,297	+35.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	14,893	11,370	+3,523	+31.0%

*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	2024年第2四半期累計期間（前年同期比）
既存店売上高	+7.1%
既存店客数	+3.2%
既存店客単価	+3.7%

2024年第2四半期累計期間は、中期経営計画に基づく店舗や人材、ITへの投資や効果的なマーケティング活動の成果により、全店売上高が前年同期比318億円増加の4,039億円となりました。この売上高の増加に加え、昨年の第2四半期累計期間に高騰していた原材料費等が相対的に緩和されたことなどにより営業利益は前年同期比57億円増加の237億円となり、期首に公表いたしました通期業績予想に対しては概ね計画通りの進捗となりました。

第3四半期以降は、継続的な実質賃金のマイナスや円安の影響などによる消費需要への懸念に加え、原材料価格の上昇も見込まれており、当社のビジネス環境は不透明な状況が続くと考えております。引き続きビジネスの基盤である安全・安心の分野を徹底しながら、中期計画で掲げた成長へ向けた3本の柱に基づく施策を着実に実行することで、通期の業績予想を達成できるように努めてまいります。

以上